

# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

## <発表順>

- ① こども動物自然公園検討グループ
- ② 次世代につなぐ大宮公園検討グループ
- ③ 熊谷スポーツ文化公園検討グループ



埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム分科会成果報告会

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会  
～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

こども動物自然公園検討グループ

< 2 >



# こども動物自然公園検討グループ

## 【活動の趣旨】

- ・ ハイシーズンにおける駐車場の混雑及び周辺道路の渋滞が課題であり、公共交通機関へのシフトが必要 ※周辺道路では約1.7kmも渋滞…(入場まで最大1時間)
- ・ 来園者数増加のため、魅力あるコンテンツづくりと効果的な情報発信が必要

## 【構成メンバー】

団体数	6者
参加団体 (順不同)	東武鉄道株式会社 川越観光自動車株式会社 エッジニア合同会社 株式会社アイコム 東松山市(都市計画課、商工観光課) 公益財団法人埼玉県公園緑地協会(こども動物自然公園管理事務所)



こども動物自然公園検討グループ

< 3 >





# 東武東上線ラッピングデザイン クオッカトレインの運行

## 【内容】

日本で唯一飼育されている“世界一しあわせな動物”クオッカの来園5周年を記念して、クオッカトレインの運行をスタート。

## 【目的】

- 環境にやさしい公共交通機関へのシフトチェンジ
- こども動物自然公園の新規来園者獲得

## 【運行概要】

- 運行期間 令和7年10月13日より当面の間
- 運行区間 東武東上線 池袋～小川町間



出発式の様子(R7.10.13 高坂駅にて)



車両デザイン



車内ポスター



こども動物自然公園検討グループ

< 4 >



SDGs 未来都市  
埼玉県



埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム分科会成果報告会

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会  
～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～  
次世代につなぐ大宮公園検討グループ

# 次世代につなぐ大宮公園検討グループ

## 【活動の趣旨】

大宮公園の歴史的価値や美しい風景、豊かな自然環境などを次世代に継承するため、①舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全を図るとともに、②新たな賑わい創出に継続的に取り組む。

## 【構成メンバー】

団体数	30者
参加団体 (順不同)	一般社団法人賑ノ杜 一般社団法人埼玉県スマートまちづくり、 一般社団法人キャリアチャレンジ総合研究所 明治安田生命保険相互会社、泰輝印刷株式会社 株式会社学研スタディエ、国際ロータリー第2770地区 株式会社武蔵野銀行、株式会社レンタルのニッケン RB大宮株式会社、毎日興業興業株式会社 GSRコンサルティング株式会社、プロケイダ合同会社 ミュージアムヴィレッジ大宮公園、埼玉県公園緑地協会 学校法人芝浦工業大学、埼玉縣信用金庫 積水ハウス建設関東株式会社、 公益社団法人さいたま観光国際協会 株式会社NEXT LIFE、 株式会社ジャクエツ、株式会社 Symphony Innovations、 エニーキャリア株式会社、東栄広告株式会社、 ガイドードリンク株式会社、岩崎電気株式会社、 氷川のつどい株式会社、JTB株式会社埼玉支店、 株式会社つなぐ、株式会社太陽商工

## 【令和7年度スケジュール】



## 【令和8年度目標】

- 大宮公園を起点に、大宮のまち全体を巻き込んでいく
- 大宮公園の歴史的価値や自然環境を生かした活動へ(大宮公園というコト消費へ)



大宮公園検討グループ

< 6 >





# 「大宮池守」による舟遊池の自然再生・保全活動

## 【活動内容】

- 今年度はアメリカザリガニやミシシippアカミミガメなどの特定外来種駆除と水生生物等の実態調査を継続実施。
- 初年度(2023年度)に比べ、大幅に捕獲数は減少。自然再生・保全活動に一定の成果を確認。
- 一方で在来動物の増加や舟遊池本来の湿性植物(ヨシなどの抽水性)および水生植物(水草等の沈水性)の再生までには至っていない状況。

## 【今後の目標】

- 引き続き特定外来種駆除、水生生物等の実態調査を行い、舟遊池のモニタリングを継続しつつ、活動の周知・拡散を図る。
- 自然再生・保全活動の次のステップとして、専門家から湿性植物再生に関するアドバイスを頂くための勉強会を計画。



# 七夕 TANABATA言の葉流し-大宮の天の川-

## 【イベント主旨】

本部会の延長・発展として、自立した事業をめざす独自の取り組み。舟遊池(ボート池)を舞台に、大宮公園と歴史的に深い関係にある武蔵一宮・氷川神社の文化を通じ、大宮公園と大宮のまちへの誇りと愛着を醸成し、地域住民をはじめ国内外から幅広く来場していただくことで、地域全体をつなぎ広がりを持たせる面として展開するもの。

## 【イベント概要】

日時	2025年7月5日(土)~7月7日(月)
会場	大宮公園 ボート池周辺
主催	【共催】(株)シンプランニング(一社)賑ノ杜
協力	武蔵一宮氷川神社、小川町、埼玉中央青年会議所、氷川ホテルの会、氷川マルシェ、次世代につなぐ大宮公園検討グループ
後援	埼玉県 さいたま市 さいたま観光国際協会
概要	言の葉流しを中心に、ボート池を活用した大宮の文化の発信を行い、単なるイベントに留まらず地域全体へ広がる「面」としての展開を図る



一帯で同時開催



## 【当日の様子】

当日は5,000名の来場者、言の葉流しイベント参加者740名と多くの方が来場。特に7月7日は平日にも関わらず最も賑い、七夕の文化と舟遊池の結びつきの強さを再認識。

また、来場者には外国人も多く、「目的地として来もらえる大宮公園、埼玉県」を実現した。



大宮公園検討グループ

< 8 >



# 第3回大宮第二公園防災秋まつり: 防災学習の「埼玉モデル」 ～楽しみながらもしもにそなえる～



大宮第二公園を起点に『防災学習の埼玉モデル』を構築、他地域展開へ  
(熊谷スポーツ文化公園・吉見総合運動公園など)

**約15,000人**

来場者数(2日間延べ)

ファミリー層中心に増加  
前年比 約50%UP

**実質100%**

防災体験参加率

スタンプラリー約1,200人  
車中泊レクチャー  
防災車両見学

**約80団体**

実行委員会+参加団体

官民連携の多様なチーム  
多数の市民ボランティア

## 専門性と多様性を両立した「独自コンテンツ」

時代先取の  
「車中泊避難」啓発



車中泊専門誌と連携  
エコミークラス症候群対策など  
ノウハウを可視化

需要が高まる  
「ペット防災」注力



避難所でのペット対応について  
専門家が講演・ブース出展  
愛犬家が多い場所特性

公園の防災機能を  
「見える化」



謎解きスタンプラリーを通じ  
日常の空間が「命を守る場所」  
であることを楽しく伝える

## 次なる展望「活動の持続」と「埼玉モデルの広域展開」

防災学習の  
「埼玉モデル」確立



大宮第二公園を起点に  
にぎわいと防災を両立させた  
全国に誇れるモデルを完成

県内主要公園への  
「横展開」



熊谷や吉見など、  
他地域へのノウハウ共有と  
展開を推進

官民連携による  
コスト効率化



民間のノウハウと行政の  
専門性を活用し、行政コスト削  
減と事業性追求を両立

# 次世代につなげる(夏休みSDGs探求イベントと今後の取り組み)

## 【令和7年度イベント】

大宮公園という環境を最大限活用し、子どもたちがSDGsをより身近に感じるための体験機会を創出するとともに親子で楽しみ、家族の絆を深めることができるような場とする

## 【イベント概要】

日時	2025年7月5日(土)10:00～
会場	大宮公園 埼玉百年の森
主催・共催	【主催】一般社団法人キャリアチャレンジ総合研究所 【共催】明治安田生命保険相互会社 埼玉本部、一般社団法人埼玉県スマートまちづくり
協力	さいたま市こども食堂ネットワーク
後援	埼玉県
概要	SDGsや環境問題に目を向けるきっかけとなるような体験型のワークショップ等を全10ブース出展・運営



## 【当日の様子】

今年で3回目となる本イベントには、約100名の来場があった。SDGs取組みの周知とともに、百年の森を活用した夏の大宮公園の賑わいづくりとなった。



## 今後の取り組み

大宮公園は、さいたま新都心から続く氷川参道の終点です。この参道を題材に、高校生の探究活動として、その活用について共に学ぶ機会を創出します。



大宮公園検討グループ  
< 10 >



# 次世代につなぐ大宮公園フォーラム2025

【実施日時】 令和7年11月28日(金)15時00分～17時00分

【会場】 渋谷MIX



## 1 基調講演 「次世代へつなぐ大宮公園 — 明治安田と地域の共創ストーリー —

明治安田 埼玉本部 執行役員 埼玉本部長 瀧野瀬 雅夫 氏

## 2 トークセッション

参加企業3社が連携し、大宮公園の魅力や未来への取り組みを語り合います。会場での質疑と意見交換しながら「持続可能な公園づくり」のヒントを探るセッションです。

## 3 交流会

定員 30名 参加費 無料

会場 渋谷MIX 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4丁目262番18

ekismさいたま新都心5階 さいたま新都心駅から徒歩1分

主催：埼玉県

企画運営 埼玉県スマートまちづくり

埼玉県SDGs官民連携プラットフォームとは、県内の企業・団体・行政が連携し、SDGs達成に向けて連携する官民連携プラットフォーム。持続可能なまちづくりに向け、情報共有や共同事業を促進しています。



詳しくはこちらへ

## フォーラム3部構成

### 1 基調講演

次世代へつなぐ大宮公園  
明治安田と地域の共創ストーリー  
明治安田 執行役員 埼玉本部長  
瀧野瀬 雅夫 様

### 2 活動報告

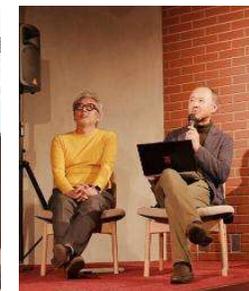
◎大宮スーパー・ボールパークについて  
公園スタジアム課

◎トークセッション  
企業3社による活動報告  
会場との意見交換

### 3 交流会

大宮公園検討グループ

< 11 >



# 今後の大宮公園検討グループ

## 参加企業の拡大



新たな企業の参画を積極的に募り、次世代へとつなぐ大宮公園検討グループの活動を拡大していきます。

## 事業の継続



## 取組みのさらなる発展

大宮公園は都市公園の枠を超えた大きなポテンシャルを持っていることが認知されつつあります。今後は、エリアの広がり、世代を超えた企画を通じ、取組みを更に発展させていきます。



# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会

～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

～熊谷スポーツ文化公園検討グループ～

# 熊谷スポーツ文化公園検討グループ

## 【活動の趣旨】

園内の豊富なリソースを生かした多角的な利活用を検討・実行していくことで、公園全体としての魅力を高めていくとともに、将来的には熊谷スポーツ文化公園が抱える課題の解消を目指す。

(検討グループで出た主な課題)  
東西方向の公園の分断、公園の名称でもある「文化」の側面の弱さ、大規模イベント時の渋滞発生、熊谷駅から徒歩圏外(駅から約5km)というロケーション等

## 【構成メンバー】

団体数	18者
参加団体 (順不同)	株式会社NEXTLIFE、Cheer up RV、ウスキングベーグル (一社)埼玉県スマートまちづくり、ブロケイダ合同会社、株式会社ジャクエツ 明治安田生命保険相互会社、(一社)日本ショーファー協会、株式会社シンプランニング (一社)賑ノ杜、泰輝印刷株式会社、株式会社学研スタディエ、株式会社レンタルのニッケン 積水ハウス建設関東株式会社、株式会社ヘリテイジ熊谷 (一社)埼玉県ラグビーフットボール協会、(一社)熊谷市観光協会 公益社団法人埼玉県公園緑地協会熊谷スポーツ文化公園管理事務所

# 食と農林業ドリームフェスタ・熊谷市産業祭への出展

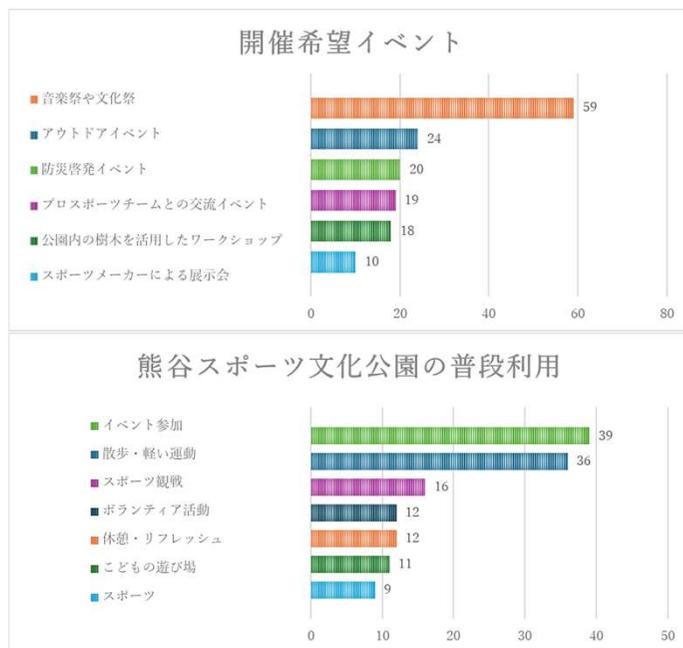
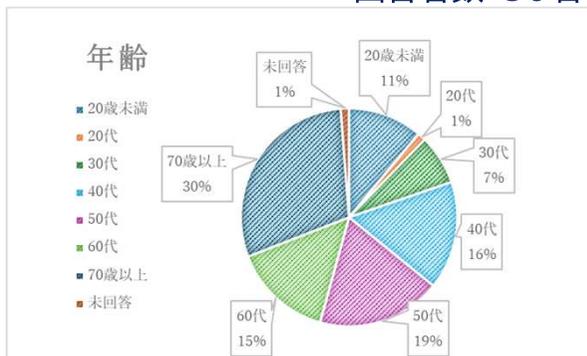
## 【出展主旨】

令和7年度は、今後当グループが実施する取組を検討するにあたり、多くの来場者が見込める本イベントにて出展及びアンケート調査を実施、公園利用者の意見を聞いた。(11/15土,16日)

今後、各競技施設やパークウイングホテルとも連携した合同宿泊イベントの開催に向けて検討を行う。

## 【アンケート概要】

回答者数:80名



## 【当日の様子】

